

地元企業×行政×大学×地域住民によるエリアマネジメント **金沢シーサイドタウン「あしたタウンプロジェクト」始動！**

平成30年7月14日（土）、地元企業や団体、行政、大学、地域住民らで構成される「横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会※1」は、横浜市立大学と横浜市住宅供給公社が事務局となり、「あしたタウンプロジェクト」を始動します。このプロジェクトは、「住宅地」におけるエリアマネジメントにより金沢シーサイドタウンの課題解決、活性化を目的としている点を特徴としており、プロジェクト名には、「このまちの豊かな毎日をあしたにつないでいこう」という思いが込められています。

活動の第一弾として、同日7月14日（土）に① 商店街の空き区画を活かしたコミュニティスペース、新「並木ラボ」をオープンし、同日10時から、地域住民に向けた利用説明やワークショップを兼ねたイベントを開催するとともに、② 地域情報を発信するホームページを立ち上げます。なお、これらは事前に住民参加のワークショップを実施し、住民の要望を反映してつくりました。またプレ活動として、③ ロゴマークの住民投票を実施中（6月18日（月）～7月29日（日）、結果発表は8月予定）です。「あしたタウンプロジェクト」は、“住みたい” “住み続けたい” “訪れたい” まちを目指して、認知拡大と、より多くの住民の参加促進を図っていきます。

【あしたタウンプロジェクト 直近の活動内容】

- ① コミュニティスペース、新「並木ラボ」オープニングイベント（10時～17時） 7月14日

所在地：横浜市金沢区並木1丁目17-7号棟1階

約260㎡の空間を、貸しスペース／キッチンスペース／キッズスペース／フリースペースで構成



■約260㎡のコミュニティスペース、新「並木ラボ」の検討模型



■もともとの商店街の空き区画

《オープニングイベント概要（予定）》

10時～ 公開トークセッション（横浜市立大学 三輪律江准教授、中西正彦准教授ほかによる取組趣旨、利用説明等）

13時～ 地域住民や商店街等と連携したワークショップ

- ② 金沢シーサイドタウンエリアを中心とした、まちの情報発信ホームページ公開 7月14日

URL：<http://ashitatown.jp> まちカレンダー／住民掲示板／まちマップ等で構成される、地域情報ポータルサイト

- ③ 認知向上・住民参加促進を目的としたプロジェクトロゴマーク住民投票 6月18日～7月29日

URL：<http://ashitatown.jp/entryform.html>

以下の3つのマークで住民投票を募っています。

A



あしたタウンプロジェクト
金沢シーサイドタウン

B



あしたタウンプロジェクト
金沢シーサイドタウン

C



あしたタウンプロジェクト
金沢シーサイドタウン

お問い合わせ先

横浜市立大学 企画総務部企画財務課担当課長 倉本 裕義

Tel 045-787-2405

横浜市住宅供給公社 街づくり事業課事業推進担当課長 太田 祐輔

Tel 045-451-7821

参 考

※1 横浜金沢シーサイドエリアマネジメント協議会について

・ 設立経緯

横浜市立大学は、平成 25 年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）」の選定を受け、サテライト拠点として「並木ラボ」を設置し、地域課題の解決に取り組んできました。本活動を通じて、地域内外の情報収集や発信体制と、地域住民間の交流促進に拠点となる場の必要性等を確認しました。そこで、平成 29 年 2 月に横浜市立大学と連携協定を締結している横浜市住宅供給公社、および地元企業や団体、行政、大学、地域住民の方とともに「エリアマネジメント検討会」を立ち上げ、エリアマネジメント体制の構築について検討を進めてきました。

平成 30 年 5 月、この活動をより具体的なアクションへ進化させるために「エリアマネジメント協議会」へと移行しました。

・ 構成メンバー

【産】石井造園株式会社、株式会社安藤建設、株式会社三春情報センター、株式会社横浜シーサイドライン、株式会社横浜八景島、京浜急行電鉄株式会社、大和リース株式会社、独立行政法人都市再生機構、三井不動産株式会社

【官】横浜市金沢区役所、横浜市政策局、横浜市住宅供給公社

【学】学校法人関東学院、公立大学法人横浜市立大学

【民】金沢シーサイドタウン連合自治会

・ 事務局

公立大学法人横浜市立大学（代表教員：国際都市学系 三輪律江准教授、中西正彦准教授）、
横浜市住宅供給公社

三輪 律江 プロフィール

横浜市立大学国際総合科学群人文社会科学系列、准教授。国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース。博士（工学）。東京工業大学大学院卒業後、横浜国立大学地域実践教育研究センター准教授などを経て、2011（平成 23）年より現職。専門は建築・都市計画、参画型まちづくり、こどものための都市環境、環境心理学。

中西 正彦 プロフィール

横浜市立大学国際総合科学群人文社会科学系列、准教授。国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース。博士（工学）。東京工業大学大学院卒業後、学術振興会特別研究員などを経て、2002（平成 14）年より東京工業大学助手（その後、助教）。2013（平成 25）年より現職。専門は都市計画。特に土地利用コントロールに関する制度論・計画論。

※2 金沢シーサイドタウン

横浜市金沢区所在、1978 年入居開始。9 事業者・37 団地・総戸数 8,905 戸からなるニュータウン。

「横浜の都市づくり将来計画の構想」（1965 年）による横浜市六大事業の一つとして、産業用地の創出等を目的として作られた埋立地に、既存市街地との緩衝・居住地確保のために整備されたまちです。水と緑など豊かな自然環境に恵まれた立地環境、楨文彦氏を始めとする日本を代表する建築家たちによってデザインされた美しい街並みは、他の同時代のニュータウンとは一線を画しています。

その中で「(仮称) 新・並木ラボ」が位置するセンターシーサイド地区は、商店街（センターシーサイド名店会）や商業施設があり、金沢区並木 1 丁目のセンター地区として開発されました。また、隣接する「ふなだまり」とその周辺地区は、埋立地の中に残された貴重な水面のある公園として、住民の憩いの場となっています。